

事業所名

児童発達支援 ふわり

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

30日

法人（事業所）理念		・「ふわり」と包み込むような温かい場所で、集団生活に必要な身辺自立、社会性を身につけることができるよう支援する。					
支援方針		・家庭的な雰囲気の中で、生活に必要な基本的な生活習慣、社会性を身につけられるように支援していきます。 ・運動遊びや感覚統合遊びを通じて、体や心の発達を促し、こども達の「できた！！」の笑顔や気持ちを大事にします。 ・こども達が「また来たい！」と思うように『ふわり』と包み込むような暖かい場所であり続けます。					
営業時間		9時	0分	15時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・一人一人の健康状態を知る。個々のタイミングを見てトイレトレーニングを始める。・衣類の着脱の仕方を伝えたり手を添え支援する。・偏食がある子には、食材を細かく刻んで食べやすいように支援する。・歯磨きの指導を行う。・食事のマナー、カトラリーの使い方の指導支援を行う。・身辺自立の確立に向けて支援する。					
	運動・感覚	・感覚統合を取り入れた運動プログラムの実施。・五感に刺激を与える遊びの提供。・姿勢保持や日常動作をスムーズに行う支援を行う。・一人一人の発達に合った運動プログラムを計画、実施。・手作り作業玩具取り入れ、手指の動きがスムーズになるように指導支援を行う。					
	認知・行動	・視覚支援を用いたスケジュールの提示。・行動の振り返りを行い、正しいルールやマナーを身につけることができるよう支援する。・椅子に座って机に向い、一人一人の発達に合ったワーク取り入れ、知識を深める支援を行う。					
	言語コミュニケーション	・言語聴覚士による言語訓練。・集団、個別療育を行い場面に合った言葉や対話ができるように支援を行う。・自分の気持ちを知り、相手に伝えることができるよう支援を行う。					
	人間関係社会性	・小集団生活を通して人との関わりや仲介や会話の橋渡しを行う。・プログラムを通じて友達と協力することができるように間に入り支援する。・集団の中でのルールやマナーを簡潔に提示する。					
家族支援		・ご家庭と情報共有を行い、情報をもとに本児とコミュニケーションを取り支援につなげていく。			移行支援		・今後就園先、就学先と連携を努めることができるように成長過程を記録し、本児がスムーズに移行できるようにしていく。
地域支援・地域連携		・外部の講師を招き、一人一人の成長に合った支援方法等の助言を頂く。			職員の質の向上		・社内研修を行っている。
主な行事等		・遠足 野菜の苗植え、収穫 プール 夏祭り バーベキュー クッキング ハロウィンプログラム クリスマスイベント お正月遊び 節分プログラム お買い物経験					